



コロワイド<7616>、大戸屋ホールディングス<2705>をTOBで子会社化へ



コロワイドは9日、定食「大戸屋ごはん処」を展開する大戸屋ホールディングスに対して子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。TOBで株式32.16%を約72億円で追加取得して所有割合を51.32%に高め、経営権を掌握する。大戸屋HDのジャスダック上場は維持する。関係がこじれたコロワイドとのこれまでの経緯から、大戸屋HDは反対して敵対的TOBに発展する公算が大きい。

買付価格は大戸屋HD株式1株につき3081円。TOB公表前日の終値2113円に45.81%のプレミアムを加えた。買付予定数の上限は2333万株（所有割合32.16%）で、下限は187万2392株（同25.84%）に設定した。上限まで買い付けられれば、所有割合は現所有分（19.16%）と合わせて過半の50%超に達する。下限については実質的支配（45%）が確立していると判断できる水準としている。

買付期間は7月10日～8月25日。決済の開始日は9月1日。公開買付代理人はSBI証券。

コロワイドは昨年10月、大戸屋HDの創業家から株式を取得して筆頭株主となった。これを受け、コロワイドは大戸屋HDに食材の仕込み・加工を工場で一括集中するセントラルキッチン方式の導入などのコスト削減策を提案したが、店内調理を売り物してきた大戸屋HDは反発。6月末の株主総会では大戸屋HD経営陣の刷新を求める株主提案をした。結果はコロワイドの株主提案が否決され、大戸屋HD側に軍配があがった。

大戸屋HDは「大戸屋ごはん処」を国内で約350店舗展開する。2020年3月期の業績は売上高4.5%減の245億円、営業赤字6億4800万円（前期は4億1400万円の黒字）、最終赤字11億4700万円（同5500万円の黒字）。コロワイドは居酒屋「甘太郎」「北海道」などで知られ、傘下には「牛角」のレインズインターナショナル、「かっぱ寿司」のカッパ・クリエイトなどの上場子会社を持つ。